

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

みすず

日付 平成 20年 10月 20日
特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

グループホームの外部評価に入らせて頂いて、ホームの職員の、より良いケアを目指す姿勢や思いに心打たれる事が多い。定められた仕事以上の頑張りに出合ったり、利用者への熱い愛情を感じて涙が溢れそうになる事もある。今日の訪問の一日もそんな思いで胸一杯になった。何より素晴らしいと感じた事は「一つでも多くの事を学び、一つでも明日からのケアに生かしたい」という管理者の非常に強い意欲と意志だ。昨年訪問した調査員が「去年提案した事をことごとく改善に努めていた。すごいホームだ」と評価していたが、私も同感した。介護の仕事は何年経験しても「もう、これで良い」という事は無いとはよく話される事で、ホーム開設3年目を迎えようとする今ならこういった姿勢は当然と言われても、なかなかそうは出来ないのが現実だろう。「1年目はもう無我夢中で日々が立ち、2年目になって少し落ち着いて個別対応が出来だしたかも知れない」と控えめに話す管理者に「多くの業務が改善されつつありますよ。外部評価を本当に有効に生かし、日々のケアに繋いで貰って、とても嬉しい」と、改めてお礼を言いたい位だ。

こういった前向きな姿勢が効果を見せているのが「可能な事は出来る限り自分の体で」という身体の自立支援と、一人ひとりの心の動きや希望に添おうとする個別対応だろう。例えば「今日は何となく気分が優れない様だ」と思われる人には気晴らしに食材買出しを誘って「その人の馴染みの喫茶店でお茶を」等、気軽なドライブや一寸したお出掛けを増やしている。又、夜眠れなくて眠剤が手放せなかった人に対しては「夜、何があっても大丈夫。ここでは自由。とことんお付き合いしますよ」の対応で、薬無しで安眠出来るようになったり、入居時尿取りパットや紙パンツをいつも使っていた人が必要なくなった人も多いと聞いている。「この人には、どんな事を話したら喜んで貰えるだろうか?どんな誘い掛けをしたら乗ってこられるだろうか?」を常に考えながら個別ケアに努めているスタッフが居るから、今日の皆さんの活気のある会話・利用者同士の思いやりのあるやり取り・スタッフとの遠慮のないコミュニケーションが見られるのだろう。ホーム開設以来夢中で走り続けている今、このホームの優れている所もしっかり再確認し、良い所を益々伸ばし、そして改善の為の「小目標」もスタッフ間で十分話し合っていて欲しいと願っている。

特に改善の余地があると思われる点

ホーム全体が「何事も学ぼう」「より良いケアに繋がりたい」という意欲を持ち続けているので、私達の期待感や応援したい気持ちは高ぶるばかりだが、2年を経過するこのあたりで「出来ている事」と「出来ていない事」そして、「やりたい事の優先順位をつける」といった整理をしてみても如何でしょうか。

家族への日常の様子や行事等を伝える「たより」は、職員間でよく話し合っていて、出来る事から着手してみても如何でしょうか。内容については少しずつ巾を広げていって、多角的な活用へ発展させて欲しいと思います。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ホームが掲げる理念や存在意義を判り易く解説したりフレットを作成する計画は、業務の見直しをしようとする職員にとっても、利用者・地域社会の人にとっても有意義な事だと思う。良いものを期待している。</p> <p>2、全体的に見て…：グループホームとして目指す理想が高く、「あれもしたい、これも改善したい」という思いが先行し過ぎないよう「目標としてきた業務の評価を確実に認識し、職員間で共有する事」も大切ではないかと思う。又このホームの有り方や運営方針等について、職員間のディスカッションだけでなく、運営推進会議の話題にも乗せ、家族や地域社会の人達も巻き込んで意見を出して貰ったり理解を深めて貰い、こういった情報を内部に止めておかないでしっかりと活用しては如何だろうか。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：今回は特に改善項目は挙げてはいないが、利用者一人ひとりの過去の生活歴や経験の掘り起こしに努めて、それらを生活空間にも活用していきたいという意欲は今のまま大切にしたい。こういった努力の波及効果は、思わぬ所に現れて来るだろう。</p> <p>2、全体的に見て…：皆と一斉にする食事やリハビリ体操・テレビやビデオを観て楽しむ等、集団での活動の為に生活空間も上手に設定されているが、独りが良い人にも居室の他に居場所を作っている。ホームの建物から一步外へ出ても隣接の法人の広場や庭、さらにナスやトマト等季節の野菜や花が立派に作られているホームの畑があり、日頃から太陽の下での活動がよく伺われる。そして「うまが合わない人同士に対するあの手のこの手の苦労話」も聞いたが、お互いが良い人間関係を築いていく為のスタッフの工夫や試行錯誤があるから、今日のような穏やかな日があるのだろう。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：「利用者を一人の尊厳ある人間として付き合っていく為の内部研修を企画し資質向上に努めたい」という改善項目は意義のある事と思う。研修が上滑りにならないよう、「今日の出来事」に直結したディスカッションを深めていって欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…：ホーム内の設備等の説明を管理者から聞いていた時の事。「あの共同洗面所で湯が使えるように利用者の〇〇さんが訴えられた為実現したんですよ」の話で、後付けの温水設備を見た。後に当の本人にその話を向けると「そうじゃ、何遍も頼んだら、えらいさんが付けてくれた」と体が反っくり返って嬉しそうだった。このように強い意志が表に出て、それをしっかりと受け止めて実現している。本人の主体性が大切にされているホームだからこそ「ここは自分の住む所。安心して暮らして良いんだ」という気持ちに繋がるのだろう。身体的能力の自立支援も手厚く、ここに来て自信を持つようになった人も居ると聞いた。今後も今まで以上に「その人が持っている力」を最大限に発揮出来る場を一つでも多く見つけていって欲しい。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：現時点でサービスの質の向上を更に考えようとする時、家族との関係と地域との交流方法を工夫する事が一番と私も同感している。当面この自主評価に挙げられている事に手を着け、今後少しずつ充実させていくのが良いと私も思う。</p> <p>2、全体的に見て…：ホーム全体を総体的に見ると、今の段階は利用者の心身の状態は比較的活発で自立度も高く、要介護2の人が多い状況と言えよう。職員の資質も向上し、安定して寄り添う時間や個別援助も多くなって来ている。「さらにサービスの質の向上を」と願う気持ちはよく伝わってきたが、その時留意して欲しい事は、3年後・5年後も視野に入れながら業務を見直していきたいという事だ。例えば利用者の身体の状態が重度化したり、表現能力の低下・ターミナルケア等想定した対策を、少しゆとりが出来た今、スタッフ間でよく話し合っておきたい。問題が発生する前の対策は現在の重要課題ではないだろうか。</p>		